第２回　越前警察署協議会

| | |
|---|---|
| 開　催　日　時 | 令和８年８月２５日（火）午後２時００分～午後３時３０分 |
| 開　催　場　所 | 越前警察署　２階講堂 |
| 出　　席　　者 | 越前警察署協議会委員　６名<br>越前警察署員署長以下　１１名 |

協議会の概要

１　委嘱状交付（山崎委員あて）
２　会長挨拶
３　署長挨拶
４　提言に関する説明
５　議事
(1)越前警察署の業務推進状況
(2)質疑応答
○委員：自転車の飲酒運転で検挙されることを知らない人がいるほか、ヘルメットの着用状況をみても、子供より大人の方が交通ルールを守っていないと感じる。
　また、特殊詐欺に関して、ＳＮＳを使う子どもが被害に遭うことはないのか心配である。
●警察：自転車の酒気帯び運転が赤切符の対象となることは今後も広報してまいる。
　また、ヘルメットの着用に関しては、過去５年間に、県内で発生した死亡事故で自転車の運転者が亡くなられた１３件のうち、ヘルメットをかぶっていたのは１件のみで、全員が大人だった。この点は課題と考えている。
　特殊詐欺については、当署管内では、子どもが被害者となる特殊詐欺は今のところ認知がない。「ひまわり教室」等でＳＮＳからの闇バイト禁止や副業詐欺防止等を呼び掛けている。
○委員：ブラジルでは地震の発生がほとんどなく、ブラジル人にほとんど経験がない。外国人の避難生活を考えると心配になる。
●警察：外国人の数が増えている中、発災時の対応として、警察としても、セーフティマネージャーを活用したり、市町と連携した情報発信は必要と考えている。
○委員：各種イベントなどで、詐欺対策アプリの導入を大々的に実施してほしい。
　また、横断歩道の道路標示が薄い場所があるため、補修を早急に願いたい。
●警察：詐欺対策アプリの普及活動は高齢者サロンや交通安全教室などで実施中である。今後は市町や自治体などと連携して活動していきたいと考える。
　横断歩道の路面標示は春に一斉調査済みであり、標示の薄いところから順次補修中である。
○委員：最近、町でパトカーが赤ランプをつけて回ってもらっているのをよく見かけると感じるが、事故防止に効果的な取組だと思う。
●警察：今後も幹線道路と中心とした赤パトや効果的な取締りを実施していきたい。
○委員：自転車利用者が多くなっていると感じるが、駐輪場での自転車盗対策について教示願いたい。
　また、詐欺対策アプリは有用なアイテムなので、普及を進めてほしい

このほか、企業への建造物侵入事件について、対応方法を他の事業所と共有できないか。

●警察：自転車盗対策については、駐輪場への防犯カメラの設置を市町へ申し入れているほか、自転車への防犯診断を行い注意喚起している。

また、詐欺防止アプリについては今後もＰＲしていく。

会社への建造物侵入事案は、同様の事案があった場合はすぐに１１０番をすることが肝要であり、また、その際に当方からは車の前に立ちふさがらないなど必要な注意喚起をさせていただく。

○委員：最近多くなっている特殊詐欺の手口について教示願いたい。

●警察：最近は、ＳＮＳを使ったバナー広告からの副業詐欺の事案が増加している。

企業の防犯講習など様々な機会を通じて広報啓発をさせていただいている。

○委員：免許返納は高齢者事故の防止というメリットとがある反面、返納者の引きこもりや買い物難民が出るなどの声も聴いているがどのような対策があるのか。

●警察：市町が免許返納後の交通手段についてバスやタクシーなどの特典を設けていることを、免許返納者又は返納を考えている人に案内して、不安を抱かないように配慮している。

●警察：詐欺や災害に関して、自分自身に置き換えて受け止めていただけるよう、広報の方法も含め、工夫を凝らして取り組みを行っていきたい。各委員の皆様には貴重な意見をいただいた。今後も検討して良質な情報を発信していきたい。

6　会議の状況



